

河野粕屋病院の新病棟完成で 『にじいろプロジェクト』に弾み

福岡都市圏で3つの精神科専門病院などを運営する医療法人済世会 河野病院グループ。2代目の河野正美理事長のもと、心を病んだ患者の社会復帰を支援できる施設づくり『にじいろプロジェクト』を推進するなか、今年初秋をめぐりに「グループのフラッグシップ」と位置付ける河野粕屋病院の新病棟（糟屋郡宇美町）をいよいよオープンする。



河野病院



河野名島病院



薬院河野クリニック

病院創立65周年、設立60周年

昨年、河野理事長の父・故河野正氏が1946（昭和21）年に現在の河野病院（糟屋郡篠栗町）を創立して65周年、51年に法人を設立して60周年という節目を迎えた医療法人済世会河野病院グループ。現在では、河野病院と、57年開設の河野名島病院（福岡市東区）、82年開設の河野粕屋病院（糟屋郡宇美町）の3病院を運営し、そのベッド総数は569床を数える。また、河野病院や河野名島病院ではデイケアセンターやグループホームなども併設し、医師や看護師などスタッフは400人近い体制を整え、福岡都市圏で有数の精神科医療機関となっている。

衆議院議員を8期22年務め、国政においても自身の医療体験を生かして社会保障政策に取り組んだ創業者河野正氏。法人設立の際、「我々は（生命だけではなく）世の中を救う病院でありたい」と、「済生会」と間違えられることを覚悟の上で敢えて『済世会』という名前にこだわったという逸話が残し、その理念は職員の中に脈々と受け継がれている。

心を病んだ患者の社会復帰を支援

2005年に就任した河野理事長は、父の遺志を受け継ぐとともに、精神疾患に対して現代的解釈を講じて、心を病んだ患者の社会復帰を支援できる施設づくり『にじいろプロジェクト』に取り組んでいる。それは、ひと昔前の「精神病は治らない」「入院＝閉じ込める」といった間違った認識を払拭し、心の風邪とも言われ近年増加する「うつ病」や、高齢化社会で大きな課題となる「認知症」をはじめ、

統合失調症など現代社会に巣くう精神疾患について、多くの人が気軽に相談し、治療できる医療機関を目指しているのだ。

「言わば、精神症状が悪くなった時期を“雨降り”に例えて、患者が雨上がりの空にかかる“虹”を見た時のように、すがすがしい気持ちになってもらおうという取り組み」と説明する河野理事長。例えば、河野名島病院入り口に、08年5月オープンした「にじいろベーカリー」は、就労経験が乏しい精神科の患者を訓練生として採用。カフェスペースも設け、地域の人々とコミュニケーションをとりながら、少しずつ仕事の経験ができる場所となっている。

新・河野粕屋病院をフラッグシップに

また、創立者の宿願だった福岡都心部進出として、10年2月に開設した「薬院河野クリニック」（福岡市中央区、内科・心療内科）には、復職デイケア室を併設。すぐに復職できるとは限らない退院患者に、都心の同院に通いながら、徐々に復職できるまでのプログラムを提供している。

そして、現在建築中の河野粕屋病院新病棟は、アルコール依存症をはじめ、認知症において記憶障害を中心とした中核症状に加えて、BPS



河野名島病院入り口にある「にじいろベーカリー」では今年3月、移動販売の専用車を導入



Profile

河野 正美 理事長

かわの・まさみ/1961年6月30日東京生まれの50歳。西南学院中学、高校を経て愛知医科大学卒業。九州大学病院精神科勤務の後、九州大学大学院に進学し医学博士号授与される。98年4月より医療法人済世会河野病院院長。2005年7月医療法人済世会理事長に就任。趣味は野球観戦、ゴルフなど。近年はiPadでの読書にハマっていて、その蔵書は1,600冊を超えたという

Dと呼ばれる知覚や思考、気分、行動の障害などの周辺症状を発症した患者をも積極的に受け入れる河野病院グループにあって、そのフラッグシップと位置付ける。

約3万4000㎡という広大な敷地と、博多湾からヤフードームまでを一望できる自然環境の良さに加え、地上5階、地下1階建ての新病棟は、延べ床面積が7000㎡を超え、ベッド数は1割減の225室となるものの、1室あたりの床面積は4.3㎡から新基準の6.4㎡へと広がる。その新病棟に「ストレスケア棟や認知症対応病棟を設け、新しい取り組みをしていきたい」という河野理事長。新病棟完成は、その理想とする医療・看護の実現に向けて大きな弾みとなりそうだ。

	DATA
創 業 設 立	1946年6月 1951年7月
事業内容	病院の運営（精神科・神経精神科、内科、社会復帰施設）
医業収益	23億3,422万円（11年3月期）
従 業 員	374人
拠 点	河野病院（篠栗町）、河野粕屋病院（宇美町）、河野名島病院（福岡市東区）、薬院河野クリニック（同中央区）他デイケアセンター・グループホーム等
関連会社	㈱ユーティリティィー、NPO法人にじいろ福祉会